

# J Shallange 2019



## 2014年から参加クラスをリニューアル。 新しいTRDラリーチャレンジ、始動。

#### Rally Data

#### TRDラリーチャレンジ2014 Round 1 in 木曽

催 フレンドラリークラブ (FRC)

2014年4月20日(日)

開催エリア

長野県内

太陽の丘公園

サービスパーク

太陽の丘公園

御岳ロープウェイスキーセンター

SS本数

SSトータル距離 20.4 k m

総走行距離

約110km

46台

C-1 4台 C-2 12台

参加台数

C-3 5台 F-1 7台 E-2 6台 E-3 11台

**OPEN** 

出走台数 46台

完走台数

43台 (リタイヤ3台)

ブリッド株式会社 BRIDE CHANNEL (ウェブサイト) (株)プラッツ J-SPORTS (テレビ) 合同会社サンク プレイドライブ(一般誌)

取材媒体

(株)デルフィス DRIVING KIDS With TOYOTA (ウェブサイト) トヨタメディアサービス(株) GAZOO Racing.com (ウェブサイト) (株)トヨタモーターヤールス&マーケティング トヨタグローバルウェブサイト (ウェブサイト) 木曽広域ケーブルテレビ木曽広域ケーブルテレビ(テレビ)

### 再び木曽の地で開幕戦を迎える。 激戦必至の今シーズンの戦いの行方は!?

2014年4月20日、長野県木曽郡においてTRDラリーチャレンジin木曽 が行われました。昨年同様初戦の地に選ばれた木曽地方は、これか ら桜が咲き始めようかという季節。まだ肌寒い早朝から、色とりどりの ラリーカーが続々と集結。今回、46台ものエントリーを数え、TRD ラリーチャレンジ初戦として過去最大の参加台数となった。









2014年より参加クラスをリニューアルしたTRDラリーチャレンジ。 初心者はより参加しやすく、上級者はさらに激しいバトルを楽しめる ようクラスを設定。また、トヨタ車以外の参加も可能なOPENクラスを 追加したことにより、今後のさらなる盛り上がりが期待される。







**DUNLOP** 

**GR GAZOO R**acing

🦅 豊田自動織機

**KIRIX** 

KYB

**AISIN DENSO** 

]-TACS

ZDIVON

**3**M

ITEKT Koyo TOYODA

TAKATA

₿東海理化

**TOKUEsisuner** トヨワ自動車東日本 TOYOTA MOTOR FAST JAPAN

**♥ ト39**部品群馬共販

**上37**部品長野共販

W/JKO'S Factory





御嶽山を望むロケーションで行われる木曽ラウンドは、オールターマックの7つの 林道SSで構成。 倉越高原を舞台とした午前セクション (SS1~SS4) は、ロング ストレートとタイトな連続コーナーで構成された複合的なコースとなる。 テンポを つかめず苦戦する選手も多い中、エキスパートクラスのベテラン勢が貫禄のタイム を叩き出す。中でも注目されたのが、E-2クラスの上位3組の争い。 WRCにも参戦 経験のある中村英一選手、昨年も86クラスで活躍した石田貴久選手、そして GAZOO RACINGチームのモリゾウ選手。 毎SSごとに1~2秒差でトップが入れ替わる デッドヒートを繰り広げた。







午後のセクションは、まだ雪が多く残る鹿ノ瀬へ舞台を移してのバトルとなった。SS5・SS7はストレートが多い4.473kmのロングコースとなり、どこまでアクセルを踏み込めるかが肝となる。また所々段差があるなど、コ・ドライバーとの連携も試されるチャレンジングな内容となった。SS6は御岳ロープウェイスキー場を駆け上がる面白いコース内容。残念ながら残雪の影響で後半部分はカットとなったが、雄大な自然を背景に全開で走る姿が印象的だった。

SS コースレイアウト		
Section 1		
SS1	ターマック A	3.660 km
SS2	ターマック B	0.986 km
SS3	ターマック A	3.660 km
SS4	ターマック B	0.986 km
Section 2		
SS5	ターマック C	4.473 km
SS6	ターマック D	1.970 km
SS7	ターマック C	4.473 km

1500ccのヴィッツで争われるE-1クラスは、全日本ラリー選手権へのスポット参戦が決まった戸塚・角田組が安定したスピードを見せつけ優勝。連覇にむけて好調な滑り出しを見せた。最多となる12台のエントリーを集めたE-3クラスでは、全日本ラリー選手権でも活躍している明治・吉田組が、2位に1分以上の差をつける全クラストップタイムとなる圧倒的な速さで勝利を飾った。そして、最終SSまでもつれこんだE-2クラスのバトルは、経験豊富な中村・安藤組が激戦を制することとなった。今後シリーズが進むにつれ、勢力図がどう変わっていくか楽しみだ。



































class

(86Racing DBA-ZN6-VPNT8A 含む)

トヨタ車限定とし、気筒容積区分無し (Vitz RS TRD Racing NCP91-VPMKMV 含む)



主幹:TRDラリーチャレンジ事務局(株式会社プロクルーズ内) [Photograph] mk-labo, Mizuho Ochi

Official Web Site

http://trdrallychallenge.jp/